

流域治水の取組を情報発信するために 流域治水アンバサダーとの連携を強化します！

～流域治水をさらに1歩前へ！新たなメンバーを迎え第2期が開始～

国土交通省では、水災害に強い国土づくりに向け、流域に関わるあらゆる関係者が協働して、水害対策を行う「流域治水」を進めています。

令和6年6月より、流域治水オフィシャルサポーターに認定された2つのNPO法人からの提案を踏まえ、両法人に所属する気象キャスター35名を「流域治水アンバサダー（防災気象情報）」として委嘱し、講演会や出前授業などを通じて流域治水の取組を発信して頂いておりました。

今回、この2年間の流域治水アンバサダーとしての活動事例を紹介して頂くとともに、第2期となる次の2年間も引き続き流域治水の取組を発信して頂くため、委嘱式および行政（河川管理者）との意見交換を実施します。

※委嘱する流域治水アンバサダー（防災気象情報）は別紙参照

※近畿地方整備局及び関東地方整備局の流域治水推進室長連名で委嘱を行います

【概要】

- 日 時：令和8年8月21日（金）16時30分 ～ 18時00分まで（予定）
- 場 所：近畿地方整備局 大手前合同庁舎 5階 共用会議室 2-2,2-3
- 出席者：流域治水アンバサダー 向笠 康二郎さん、土井 邦裕さん、宇野 日和さん、
石樽 亜紀子さん、波田 健一さん、堀 奈津子さん
近畿地方整備局流域治水推進室長 犬丸 潤（代表）
- 内 容：開会挨拶、委嘱状交付、代表者挨拶、記念撮影
活動事例の紹介、意見交換、閉会挨拶

【取材にあたっての留意事項】

- 別添「取材申込書」参照

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 流域治水推進室 水災害対策専門官 有本 浩太郎
Tel 06-6942-1141（代）／Tel 06-6944-8853（直）

流域治水アンバサダー（防災気象情報） 第2期委嘱式および意見交換

（会場位置図）



〒540-8586 大阪府中央区大手前 3-1-41 大手前合同庁舎
TEL：06-6944-8853（近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター 直通）
地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅 1-A・1-B 出口から徒歩約3分
会場は、5階共用会議室 2-2, 2-3 になります。

（会場フロアマップ）

大手前合同庁舎5F



報道関係者へのお知らせとお願い

■流域治水アンバサダー(防災気象情報)第2期委嘱式および意見交換に関する取材について

【事前登録】

取材を希望される方は、電子メール(arimoto-k86tx@mlit.go.jp)または別紙取材申込書(FAX)にて8月20日(木)12時までにお申し込み下さい。

なお、電子メールによる申し込みの場合は、別紙取材申込書(FAX)と同様の内容を記載下さい。

【留意事項】

※取材を希望される方は、下記の【取材にあたっての留意事項】を必ずお読みください。

- 当日、記者およびカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただけますようお願い致します。
- 取材に必要な電源は各社各自で準備ください。
- 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 手荷物・貴重品等は各自にて管理お願いします。
- 事故防止の観点から、取材にあたっては節度のある行動をお願いします。
- 委嘱式および意見交換の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従ってください。
- 閉会后、報道機関向けに取材の時間を設けます。

【お問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 河川部水災害予報センター
水災害対策専門官 ありもと こうたろう 有本 浩太郎
TEL 06-6944-8853

【送付先】

国土交通省 近畿地方整備局 河川部水災害予報センター
水災害対策専門官 ありもと こうたろう 有本 浩太郎
メール arimoto-k86tx@mlit.go.jp
FAX 06-6944-8854

申し込み書

◆電子メールでの申し込み

件 名:流域治水アンバサダー(防災気象情報)第2期委嘱式および意見交換 取材
メール本文:①お名前、②ふりがな、③ご所属(会社名)、④ご連絡先(TEL)

メール送信先: 河川部流域治水推進室 有本 宛
メールアドレス: arimoto-k86tx@mlit.go.jp

◆FAX での申し込み

※送り状は不要ですので、本紙のみをそのまま FAX してください。

なお、お手数ですが、FAX 送信後、受信確認のため、以下の【受信確認先】までご連絡ください。

◆申し込み〆切:8月20日(木)12 時まで

ふりがな ※必須	
お名前 (複数名参加の場合は全員分) ※必須	
ご所属(会社名) ※必須	
ご連絡先(TEL) ※必須	
ご連絡先(mail アドレス) ※任意	

Fax 送信先・受信確認先:河川部流域治水推進室 有本 宛
FAX番号:06-6944-8854(水災害予報センターFAX)
TEL:06-6944-8853(水災害予報センター直通)

(別紙)

【流域治水アンバサダー(防災気象情報)】 リスト

関東地方整備局
近畿地方整備局

NPO法人気象キャスターネットワーク (<https://www.weathercaster.jp/>)

	名前	アンバサダーSNS等
1	渡部 圭吾	https://x.com/watabe_weather
2	石樽 亜紀子	https://x.com/gureweather
3	斉田 季実治	https://x.com/tenki_saita
4	波田 健一	https://x.com/hadaken69
5	名倉 直美	https://www.weathercaster.jp/nagura-naomi/
6	南 利幸	https://www.weathercaster.jp/minami-toshiyuki/
7	水越 祐一	https://www.weathercaster.jp/mizukoshi-yuichi/
8	井田 寛子	https://climate-educator.com/profile/
9	くぼ てんき	https://kubotenki.com/
10	山神 明理	https://x.com/gamiyamayama
11	天達 武史	https://amatatsu.jp/
12	寺川 奈津美	https://x.com/natumikann541
13	藤富 郷	https://go-tax.net/
14	鈴木 智恵	https://www.instagram.com/chiebow03/
15	蓬萊 大介	https://hourais-office.co.jp/
16	奈良岡 希実子	https://x.com/kimiko_naraoka?lang=ja
17	堀 奈津子	https://www.maimupro.co.jp/profile/10477/
18	吉竹 顕彰	https://www.nhk.or.jp/fukuoka/caster/yoshitake-a.html

NPO法人気象と地域防災フォーラム (https://mardip.jpn.org/mardip_top.html)

	名前	アンバサダーSNS等
1	岩谷 忠幸	https://x.com/meteojapan
2	伊藤 みゆき	https://ameblo.jp/ito-miyuki/
3	向笠 康二郎	https://www.office-weather.jp/caster/mukasa-koujiro/
4	土井 邦裕	https://x.com/doi_weather
5	加藤 直樹	https://x.com/naokikato_wf
6	澤 麻美	https://www.instagram.com/asamisawa_tenki/
7	敷波 美保	https://www.instagram.com/mihoshikinami/
8	町田 朱理	https://www.instagram.com/rkadcm/
9	宇野 日和	https://www.instagram.com/pivor61/
10	矢野 佑奈	https://www.instagram.com/yanoyuna_weather/
11	親見 麗菜	https://x.com/shinmi_reina
12	池津 勝教	https://www.nhk.or.jp/kanazawa/caster/a-det0019.html
13	熊谷 琴葉	https://x.com/kumagai_kotoha
14	千田 希々花	https://www.instagram.com/sendanonoka/
15	福田 歩実	https://www.instagram.com/ayumi_fukuda1235/
16	伊藤 えがお	https://www.instagram.com/_egao_ito/
17	服部 由佳	https://x.com/yuuuca516

「流域治水(りゅういきちすい)」

【参考】

◇流域治水とは

気候変動による降雨量の増加などを踏まえ、河川区域や集水域のみならず、氾濫域も含めて流域に関わるあらゆる関係者が協働して、流域全体で水災害対策を行う取組です。

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大

〔国・市、企業、住民〕

雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

集水域

流水の貯留

〔国・県・市・利水者〕

治水ダムの建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

〔国・県・市〕

土地利用と一体となった遊水
機能の向上

河川区域

持続可能な河道の流下能力の 維持・向上

〔国・県・市〕

河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

〔国・県〕

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

②被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／

住まい方の工夫

〔国・市、企業、住民〕

土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

氾濫域

浸水範囲を減らす

〔国・県・市〕

二線堤の整備、
自然堤防の保全



③被害の軽減、早期復旧・復興 のための対策

土地のリスク情報の充実

氾濫域

〔国・県〕

水害リスク情報の空白地帯解消、
多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

〔国・県・市〕

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

〔企業、住民〕

工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

〔企業、住民〕

不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

〔国・企業〕

官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

〔国・県・市等〕

排水門等の整備、排水強化